

## 白神山地世界遺産地域の科学委員会の設置について

### 1. 背景

平成5年12月、「白神山地」が「屋久島」とともに我が国で最初の世界自然遺産に登録されて16年が経過した。これまでの間、遺産地域の保全管理を進めるため、白神山地世界遺産地域連絡会議を設置するとともに、白神山地世界遺産地域管理計画を策定し、関係行政機関、関係団体が緊密な連携・協力のもと、巡視の励行、入山マナーの普及啓発、情報提供・環境教育活動、調査研究・モニタリングなどに努めてきた。また、核心地域への入山手続き、ブナ損傷問題、入山マナー向上への取り組み等の課題について議論されてきた。

平成17年に世界自然遺産となった「知床」においては、登録に際して海域管理や河川工作物の改良など様々な課題があったことから、知床世界遺産地域科学委員会を設置し、科学的知見に基づく助言を踏まえつつ、地域連絡会議において地域と協議を行いながら管理を行う「順応的保全管理体制」が構築された。この体制は、平成20年2月に行われた世界遺産委員会の勧告に基づく保全状況に関する調査において、国内外の自然遺産の保全管理のモデルとなると高く評価された。

平成24年の世界遺産委員会では、白神山地を含む我が国の世界遺産の保全状況について定期報告が行われる予定である。近年の定期報告においては、顕著な普遍的価値を改めて確認することが求められるとともに、十分な保全管理体制が取られているかについても確認が行われている。

このため、白神山地においても将来にわたって確実に世界遺産としての価値の保全を図るための科学的な知見に基づく順応的保全管理体制に資するため、「科学委員会」を設置する。

### 2. 白神山地世界遺産地域科学委員会の位置付けと目的

#### 1) 位置づけ

地域連絡会議に対する助言機関。

#### 2) 目的

科学的知見に基づき、白神山地世界遺産地域の顕著な普遍的価値の保全管理に必要な助言を行う。

#### 3) 設置者

東北地方環境事務所、東北森林管理局、東北森林管理局青森事務所  
青森県、秋田県、青森県教育委員会、秋田県教育委員会

### 3. 科学委員会の構成

1) 白神山地について知見のある、又はモニタリング調査や研究実績のある学識者及び地元有識者8～10名程度で構成。

2) 個別の課題について、より専門的な知見が必要となる場合は、課題毎にワーキンググループを設置することができる。

#### 4. 科学委員会における当面の議題

白神山地世界自然遺産地域連絡会議の求めに応じ、2012年の世界遺産委員会への定期報告に向けて、当面は以下の事案等について検討し、助言する。

- 1) 白神山地世界遺産地域管理計画の改訂に対する助言  
管理計画の改訂に向けての助言を行う。
- 2) 世界遺産委員会への定期報告に向けた顕著な普遍的価値の再確認  
白神山地の有する顕著な普遍的価値について、最新の科学的知見による再整理を行う。
- 3) 順応的保全体制の構築に向けた対応（モニタリングのコーディネート）  
既存の調査研究・モニタリングのレビュー  
現在及び将来生じうる課題の抽出・整理  
各調査研究・モニタリングの目的・位置づけを明確にした白神山地の全体的なモニタリング計画の策定  
気候変動への対応